

第2次光市教育振興基本計画（案）

令和3年度第2回策定懇話会（令和3年10月14日）後の主な修正箇所

箇所	修正前	修正後	修正理由
・目次 ・21P表 ・62P	4-2 安全・安心な教育環境の整備・充実	4-2 安全・安心な学校づくりの推進	内容の精査 (ハード・ソフトを合わせた表現へ)
4P グラフ 脚注	資料：令和3年度までは学校基本調査による実数、令和4年度以降は推計値	資料：令和3年度までは学校基本調査による実数、令和4年度からの数値は就学率・進学率と「 <u>国立社会保障・人口問題研究所</u> 」が本市の総人口の推計を算出した際の減少率を基に推計したもの	推計値をより丁寧に説明するため
12P～ 13P ②生活の状況 ③体格・体力の状況 【現状】 2段目の■	平成29年度から令和元年度における体力合計点は小・中学校ともに多少増減しながら、おおむね <u>上昇傾向にあります。</u> グラフ	平成29年度から令和3年度における体力合計点は小・中学校ともに多少増減していましたが、令和元年度から3年度にかけて <u>下降しています。</u> グラフに令和3年度のデータを反映	令和4年1月に発表された令和3年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を反映するため。
18P 教育ブランドひかり「その先へ」の説明 2行目	■「いつでも・どこでも・だれとでも」学べるICTを活用した学習活動の充実 …情報活用能力の育成を図るとともに、 <u>ポストコロナ期における個別最適な学びと協働的な学びを</u> 充実し、…	…情報活用能力の育成を図るとともに、 <u>個別最適な学びと協働的な学びを</u> 充実し、…	内容の精査（「ポストコロナ期における」を削除）
21P～ 第3章	主な指標 【主な指標】	成果指標 【成果指標】	内容の精査 (表現の統一)

箇所	修正前	修正後	修正理由
38P 方針 1段落目 2段落目	<p>「<u>地域とともにある学校</u>」として、<u>学校・家庭・地域が一体となって子どもに関わり、見守り、支え、応援する学校経営を推進します。また、中学校区（学園）で取り組む「次世代型コミュニティ・スクール」により、学校・家庭・地域が一体となった「横の連携」、15歳までを見通した「縦の連携」を深めることで、相互に高め合えるコミュニティ・スクールの充実を目指します。さらには、…</u></p>	<p><u>各学校単位</u>のコミュニティ・スクールから、<u>中学校区（学園）を単位とした「次世代型コミュニティ・スクール」に進化させ、学校・家庭・地域が「目指す子ども像」を共有しながら、子どもたちの「学び」と「育ち」をつなぐ連携・協働教育のより一層の推進を図ります。また、…</u></p>	<p>懇話会の意見反映（文言の整理：「15歳までを見通した」という表現が教育ブランドひかりの表現との整合性が取れていないと誤解を生む可能性があるため）</p>
38P 取組① 2行目	<p>…ネットワークの強化を図り、<u>15歳の目指す子ども像</u>を共有した取組を…</p>	<p>…ネットワークの強化を図り、<u>「目指す子ども像」</u>を共有した取組を…</p>	
38P 指標③	<p><u>③地域学校協働活動推進員配置校数</u></p>	<p>削除</p>	<p>懇話会の意見反映（指標数のバランス・精査）</p>
45P 指標③	<p><u>③地域の行事に参加している児童生徒の割合【再掲】</u></p>	<p>削除</p>	<p>懇話会の意見反映（指標数のバランス・精査）</p>
61P 取組	<p><u>小中一貫教育における教育効果を高めるとともに、施設の老朽化に対応するため、施設一体型による小中一貫教育の具現化に着手します。</u></p>	<p>令和4年3月に策定した<u>施設一体型小中一貫ひかり学園の新設に係る方針に基づき、施設一体型による小中一貫ひかり学園の計画的な整備を進めます。</u></p>	<p>市議会等の意見反映（「施設一体型小中一貫ひかり学園の新設に係る方針」の位置付けを明確にするため。）</p>

箇所	修正前	修正後	修正理由
62P 方針		<u>各校の学校安全計画や危機管理マニュアルに基づいた、生活安全、交通安全、災害安全（防災）の取組を推進し、学校の危機対応能力の強化と、安全に関する子どもたちの資質・能力の向上、加えて「自助・共助・公助」の力の育成を目指す安全教育を推進します。</u>	内容の精査（安全教育の部分を目頭に追加）
62P 取組① 5行目	適切に対応する能力の向上を図ります。	適切に対応する防災対応能力の向上を図ります。	内容の精査（具体的施策 1-4 の方針に記載→本取組へ移動）
65P 方針 3段落目	さらには、児童生徒が食への理解を深め感謝の気持ちを養うなどの食育を推進するため、学校給食センターの調理風景の見学や給食試食会を実施します。	さらには、児童生徒が食への理解を深めることで、SDGsの理念を踏まえた「食品ロス」の低減に向けた取組を推進します。	懇話会の意見反映（残食率を指標に追加してほしいとのご意見→残食率を指標にすると、子どもたちに完食は絶対といった意識を与えてしまう懸念があることから、残食の低減につながる新たな指標を追加するとともに、ご意見の主旨を踏まえ、「食品ロス」の低減を方針の中に明記）
66P 指標③		<u>③好き嫌いせず食べることが大切だと思う児童生徒の割合</u>	
70P 2 進行管理	施策等の点検・評価については、…	教育委員会では毎年度、 <u>事務評価委員会を開催し、計画や予算に基づく各事業について点検・評価を行い公表しています。この点検・評価については、…</u>	パブリックコメントの意見反映（具体的な取組を追記）
89P 以降 【資料編】		<u>1 「第2次光市教育大綱」、2 「光市教育振興基本計画策定懇話会設置要綱・委員名簿」、3 「第2次光市教育振興基本計画策定経過」、4 「用語解説」を追加</u>	【資料編】に追加すべき内容を掲載するため。

